

審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和6年度第2回西脇市介護保険運営協議会
開催日時	令和7年2月27日(木) 午後1時30分～3時00分
開催場所	西脇市市役所2階 委員会室
出席委員の氏名 又は人数 (敬称略)	南久雄、高瀬利明、久米敏正、齋藤博史、 蓮池一晃、廣田よし子、筒井研策、伊藤真知子、 南野美紀、藤原良規 計10人
欠席委員の氏名 又は人数(敬称略)	坂本修三、東口喜樹、下山かよ、松原幸代、 小山貴由 計5人
出席職員の職・ 氏名又は人数	福祉部長 伊藤景香 長寿福祉課長 浦川知美 健幸都市推進課長 依藤 嘉久 地域包括支援担当課長補佐 笹倉真由美 介護保険担当課長補佐 横山淳子 長寿福祉担当主査 福田有里 計 6人
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	2人
議題又は協議事項	1 地域密着型サービス事業所の公募について 2 地域包括支援センターの事業評価について 3 その他 西脇市における重層的支援体制整備事業について

発信者	会議の記録（概要）
事務局	○開会あいさつ
会長	○会長あいさつ
事務局	<p>それでは、会議次第に沿って議事を進めます。今回の議事録の署名人は、廣田よし子委員にお願いします。まず、協議事項(1)「地域密着型サービス事業所の公募」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	資料に基づき、説明
会長	説明ありがとうございました。何かご質問はありますでしょうか。
	<p>昨年も公募したが応募がなく、今年も応募がなかった。令和7年度において、介護人材不足の中、再公募するにあたり公募の内容等について見直すことは考えていますか。今後も公募がなかった場合どうするか考えてますか。</p>
事務局	現時点で再公募にあたり内容を見直すことは考えていません。引続き公募をしてみたいです。
会長	分かりました。それでは、次の協議事項(2)「地域包括支援センターの事業評価」について事務局から説明をお願いします。
事務局	資料1に基づき、担当より説明
会長	ありがとうございました。何かご質問ありますでしょうか。
	<p>資料の「事業評価（市の関わりの評価）」項目の中で「地域ケア会議」の点数が92.3%となっている理由について、地域ケア会議の結果を公表していないということでしたが、地域ケア会議で協議する内容は、個人情報関係上、公表しないものであると思いますが、国が示す公表とはどういうものですか？</p>
事務局	地域包括ケアシステムの中には、地域づくりや地域での支え合いを含めた暮らしを支えるという観点があります。

	<p>現在の地域ケア会議は、専門職間で事例を検討していくものになっていますが、そこから見える生活支援や地域での課題を住民の方も一緒に考えて取り組んでいただくということが国の進めるものになっていきます。地域ケア会議から見えた地域での課題を住民の方に公表し、共に考え取り組んでいただくということが、国の示す公表であると認識しております。</p>
<p>会 長</p>	<p>ほかに何か質問はありますか？</p> <p>新しい指標の中で、現在各事業所で従業員の健康診断やストレスチェックを実施されていると認識しています。ストレスチェックはコストが高いため、実施されていない事業所もあると聞いていますが、地域包括支援センターについては、実施はされているのでしょうか。また、ストレスチェックはコストがかかるため、その補助金はあるのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>にしわき北地域包括支援センターは、ストレスチェックを毎年実施しています。費用については、運営費から支出しています。</p> <p>にしわき南地域包括支援センターについても、ストレスチェックは毎年実施しています。</p>
<p>会 長</p>	<p>わかりました。</p> <p>ほかに質問はありますか。ないようでしたら、次の協議事項(3)「その他 西脇市における重層的支援体制整備事業」について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料2に基づき、担当より説明</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございました。何かご質問ありますか。</p> <p>高齢者、障害者や子どもとそれぞれの分野において検討していくのも非常に大変なことで、この事業でそれらを総合的に検討していくということですが、会議が増えるということでしょうか。少ない会議で効率的に検討していく方法を考えていく方法が必要だと思いますが。</p>
<p>事務局</p>	<p>重層的支援会議と支援会議と2種類あると説明いたしました。基本は、相談を受けたところで、解決策をさぐって</p>

	<p>いくのですが、どうしても相談内容が複雑化していて相談を受けたところだけでは、解決策が見付け出せない場合に、この支援会議を行うという流れになります。定期的開催するのではなく、事例があった際に開催するというものです。</p>
<p>会 長</p>	<p>会議は、どのようなメンバーを考えていますか。 それぞれの分野から何名か参加するという決まったメンバーになるのか、その都度、ケースによって参加するメンバーが違うというのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ケースに応じたメンバーを招集するものと考えています。</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございます。 あと、就労しながら介護をしなければならない方や就労しながら障害のある子の子育てなど、就労しながらへの支援というのは、この事業の中に含まれますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご指摘いただいた、就労しながら介護や障害のある子の子育てをされている方に対しても、今後の検討課題としていきたいと考えています。</p>
<p>会 長</p>	<p>就労しながら介護や障害のある子の子育てをされている方もあります。そういうケースもこの事業で検討していかなければならないと考えます。 地域のいきいきサロンで障害のある方や子どもを受け入れるとなっているが、高齢者だけでも大変であると思いますが、いきいきサロンを運営している人の負担が大きくなると考えます。そのあたりの支援を誰がどのようにしていくのでしょうか。こども食堂についても同様であると思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>いきいきサロンについては、ご指摘のとおり現在は、高齢者に特化したものですが、令和7年度から重層的支援体制整備事業に位置付けられ障害者や子どもを含めた活動に展開していくこととなります。現時点で、具体的な内容は今からの検討となります。いずれにしても、双方にもメリットのある活動にしていきたいと考えています。</p>

会 長	<p>その他、何かありますか。</p> <p>ないようでしたら、本日の議題は全て終了いたしました。委員の皆様、ご協力ありがとうございました。</p> <p>これをもちまして、第2回介護保険運営協議会を閉会いたします。</p>
-----	--